

ウェルビーイング指標② 指標データを活用して施策展開を進（深）化！

基本属性データ×主観データで広がる可能性

ウェルビーイング指標の策定に際して、県民意識調査（R4.9実施）の回答を集計・分析（クロス分析、相関分析、因子分析など）し活用しました。

この調査では、18歳以上の2754名もの皆様から、ウェルビーイングに関連する主観的な実感（計64項目）や、右記の基本属性（18項目）等の回答をいただいています。

これらの多岐にわたるデータを組み合わせることで、様々な条件に該当する県民の方がどのような主観的意識・傾向を持っているのかきめ細かく把握することにも活用できます。

例えば、10～20代の若者、正規従業員で子育て中の30代女性、70歳以上の一人暮らし高齢者、製造業従事者・・・など、施策の対象となる県民の姿を想定し、データを抽出して丁寧に分析することで、これまで見えていなかった課題を見出し、ニーズに合ったよりきめ細かで効果的な施策の立案・実施にも繋がるのではないかと考えています。

また、これまで客観データで大まかに推し量るしかできなかったことも、県民の皆様の実感として課題解決に繋がっているのかの評価・検証にも活用できるのではと考えています。

指標で体系化した主観データは今後も定期的に調査していきたいと考えています。こうしたデータを施策の様々な場面で活かすことで、県民ウェルビーイング向上に資する新たな施策展開に繋がると期待しています。

基本属性データ（2022県民意識調査での項目）

- ①年齢 ②性別 ③お住まいの市町村 ④住居状況 ⑤お住まいの地域の環境
- ⑥出身地 ⑦県内・県外居住年数 ⑧主な活動場所がある市町村
- ⑨結婚 ⑩子ども ⑪同居家族構成 ⑫同居家族人数 ⑬近居 ⑭ペット
- ⑮職業 ⑯職業分野 ⑰個人年収 ⑱世帯年収

主観データ



ウェルビーイング
指標測定のため
の項目

- ・ 総合実感（3項目）
- ・ 生活の調和とバランス実感（1項目）
- ・ なないろ[分野別]（20項目）
- ・ つながり（23項目）

・その他2022県民意識調査で調査した項目

例えば、施策の対象を想定して・・・

仕事も子育てもがんばる
30～40代の女性が
もっと自分らしく、いきいきと
暮らせるように後押ししたい

①30・40代 × ②女性 × ⑨既婚
× ⑩子どもがいる × ⑮正規従業員・社員
で基本属性データから抽出し、
関連する主観データを見る

- ・課題・ニーズ分析
- ・（必要に応じ）更なる（深掘り）調査
- ・関係者との対話、調整
- ・必要な施策の立案

- ・施策の実施
- ・効果検証



富山県ウェルビーイング指標

<https://www.pref.toyama.jp/100224/toyama-wellbeing-indicator.html>